

職員による自己評価

A 環境面

- ・活動には十分な広さで、子どもたちものびのびと過ごしているように感じる。
- ・広い分、走り回る子どもが多く、間仕切り等の安全に活動できる工夫が必要と感じる。
- ・広さを活かして、同線を意識した空間の使い方をしたいが、空調が行き届かないことによる、夏は暑さ、冬は寒さの問題があり、広さを有効活用できていない。

B 児童への支援内容

- ・児童の家庭環境にも気を配るなど、配慮が出来ていると思う。
- ・幅広い年齢、様々な特性のある児童が来所される中で、それぞれのやりたい活動に柔軟に対応するための工夫ができていていると思う。
- ・スタッフの得意分野を活かし、制作活動に力を入れているのは良いと思う。

C 関係機関との連携

- ・学校お迎え時、先生からの申し送りがもう少しあった方が良いと思う。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者の方々は、日々の出来事やこの先の不安などを、よく相談して下さる。
- ・保護者会（コパンサロン）の開催は、定期的にできているが、参加できる保護者が限られており、連携には課題が残ると思う。

E 非常対応

- ・緊急地震速報の音を流すなどして、実際の状況を想定した訓練が必要だと思う。

保護者による評価

A 環境面

- ・室内でも十分に身体を動かして遊べるスペースが確保されている。
- ・送迎時も安心できるスタッフの配置数だと思う。
- ・バリアフリーとは言えない箇所があるが、利用するうえで問題はない。

B 児童への支援内容

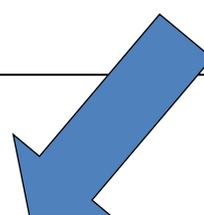
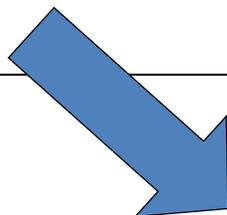
- ・よく観察し、適切な計画を作成できていると思う。
- ・室内、室外、また長期休暇中の活動で、様々な経験ができています。
- ・知る限りでは、障害のない子どもと活動する機会は無いように感じる。

C 事業所からの情報発信

- ・利用者負担額について、利用開始前にしっかり時間を取り、説明があった。
- ・定期的に保護者の集い（コパンサロン）があり、コミュニケーションがとれている。
- ・毎回必ず、システム上（HUG）での報告や連絡があり、LINE でも対応してもらえる。
- ・いつも相談に乗ってもらえて、助かっている。

D 非常対応

- ・こちらが（マニュアルについて）把握できていない可能性がある。
- ・利用当初（マニュアルについて）説明があったのかもしれないが、忘れてしまった。
- ・訓練をしているのか、不確かである。



事業所内での分析

【共通点】

- ・活動スペースは十分に確保できている。
- ・一人ひとりの特性や環境に応じて、支援することが出来ている。
- ・緊急時の対応についての把握の甘さ、不安感。

【相違点】

- ・活動スペースが広がったからこそ感じる、スペースの使い方や安全確保の難しさ。
- ・保護者同士の交流、関係機関との情報交換に関する課題。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・活動スペースが広く、室内でもトランポリンやダンス、モルック等の身体を動かす活動ができる。
- ・子ども達一人ひとりに向き合い、好きな事を取り入れた活動を提供している。
- ・利用者だけでなく、保護者やきょうだい児など、ご家族にも寄り添った支援が出来ている。
- ・月に1度のペースで保護者会（コパンサロン）を開催し、ご家庭での悩み事の共有や、進路等に関する保護者同士の情報交換の場が提供できている。

事業所の改善点

- ・昨年、緊急時の対応の見直しを行い、マニュアルを全家庭へ配布、また新規の利用者に関しても、契約時に配布しているが、浸透していない様子。定期的に、見直しと配布を行い、保護者やスタッフに周知する必要がある。
- ・避難訓練の頻度、やり方を見直し、実際に想定した訓練をこまめに行う。
- ・関係機関との連携を図り、統一性のある支援を行う。

～事業所の改善への取り組み～

- ・災害時等の緊急対応について、定期的な見直しを行い、避難場所や避難の流れをスタッフ、保護者共にきちんと把握できるように、定期的に書面にして配布する。また、避難訓練は毎月違う曜日に行えるよう日程を組み、参加児童に偏りが出ないように対応する。
- ・日々の活動の様子は、写真付きの電子連絡帳にて保護者に分かりやすく伝える。
- ・日頃から、学校や他事業所との情報共有をこまめに行い、支援の統一を図る。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

子ども達との関わりの中で、好きな事や興味のある物を取り入れることで、良い支援に繋がっているということが、保護者からの声で分かった。引き続き、一人ひとりの特性に合った支援を心掛けつつ、集団での活動も行うなど、子ども達との関わりを大切にしていきたいと思う。安全面や緊急時の対応について、きちんと周知をすることが事業所の更なる、信頼、安心感に繋がると思うので、早急にできることから取り組みたいと考えている。今後も、子ども達だけでなく、ご家族の方にも寄り添いながら、安心して預けることのできる場所になれるよう、スタッフ全員で努力していきたい。

事業所名

コパン万騎が原

担当者

鈴木 桃香